

参考資料

1. 定禅寺通エリア活性化の取り組みの経緯

1.1 本市のこれまでの取り組み

本市では、近年、都心部の人の流れと賑わいが仙台駅周辺へ集中する傾向にあること等を背景として、都心の重要な拠点の1つである定禅寺通エリアの魅力を高めることで都心全体の回遊性向上と活性化を図るため、平成29年度より定禅寺通エリアの活性化に向けた取り組みを開始しました。

平成30年10月には、地域の方々を中心とした「定禅寺通活性化検討会」（以下、「検討会」という。）が設立され、仙台商工会議所と共に本市（定禅寺通活性化室）が事務局を担い、検討会における議論や取り組みの支援を行いました。令和元年及び令和3年には、道路空間の利活用による賑わいや憩いの場づくりの検討を行うため、車線規制を伴う社会実験を本市と検討会の共催で実施しました。

また、勾当台・定禅寺通エリアにおいては、本庁舎建替えや勾当台公園の再整備等の検討も進む中、エリアでの個々の取り組みが結び付いた一体的な「面」としての魅力向上を図るため、有識者による「勾当台エリアビジョン策定検討懇話会」を設置して検討を行い、「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」を令和3年5月に策定しました。

令和4年度には、歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を活用して、定禅寺通および稲荷小路の一部をほこみちに指定し、民間主体による道路空間の利活用を開始しています。

（主な取り組み）

- 平成29年4月 定禅寺通活性化室（係相当※）の設置
※平成30年度からは課相当
- 令和元年10月 道路空間利活用社会実験「定禅寺通ストリートパーク'19」実施
- 令和3年5月 「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」を策定
- 令和3年8～9月 大規模社会実験「JOZENJI STREET STREAM」実施
（検討会と共催）
- 令和4年7月 歩行者利便増進道路（ほこみち）に指定

「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」では、公・民が共有する「まちづくりの理念」と、本市としての「施策や取り組みの方向性」が示されています。

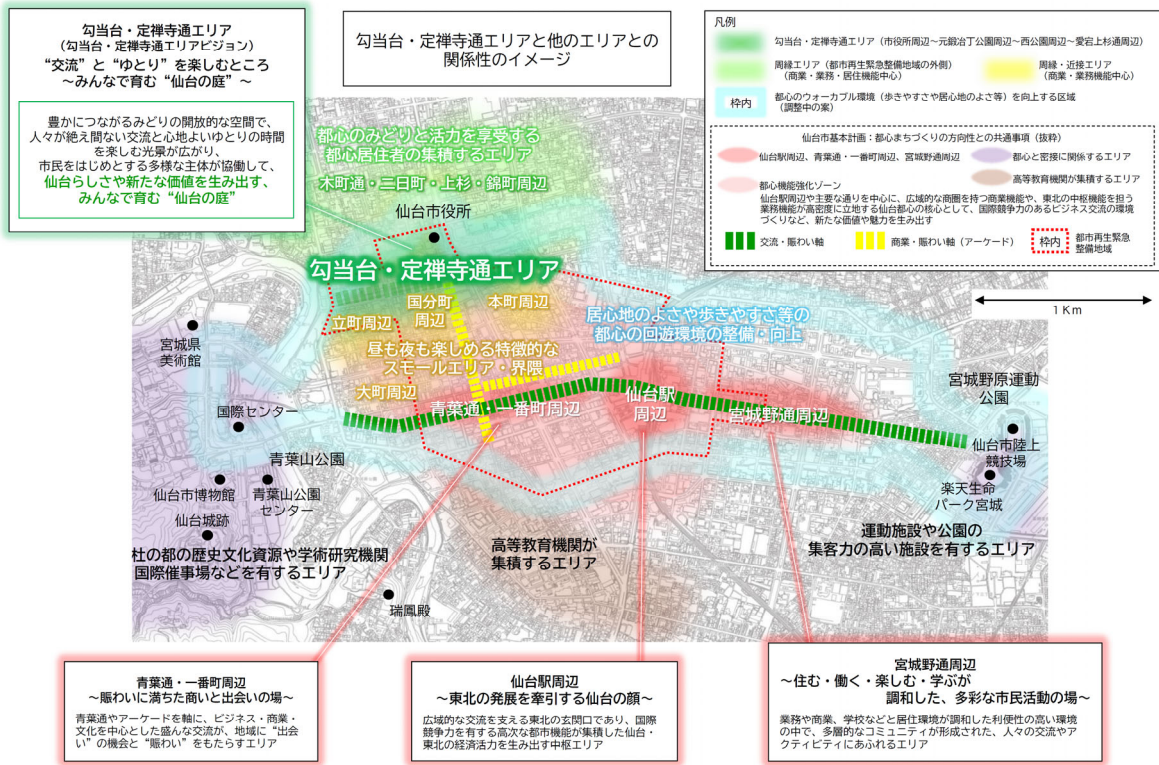


図 勾当台・定禅寺通エリアと他のエリアとの関係性のイメージ

(出典：勾当台・定禅寺通エリアビジョン (仙台市))

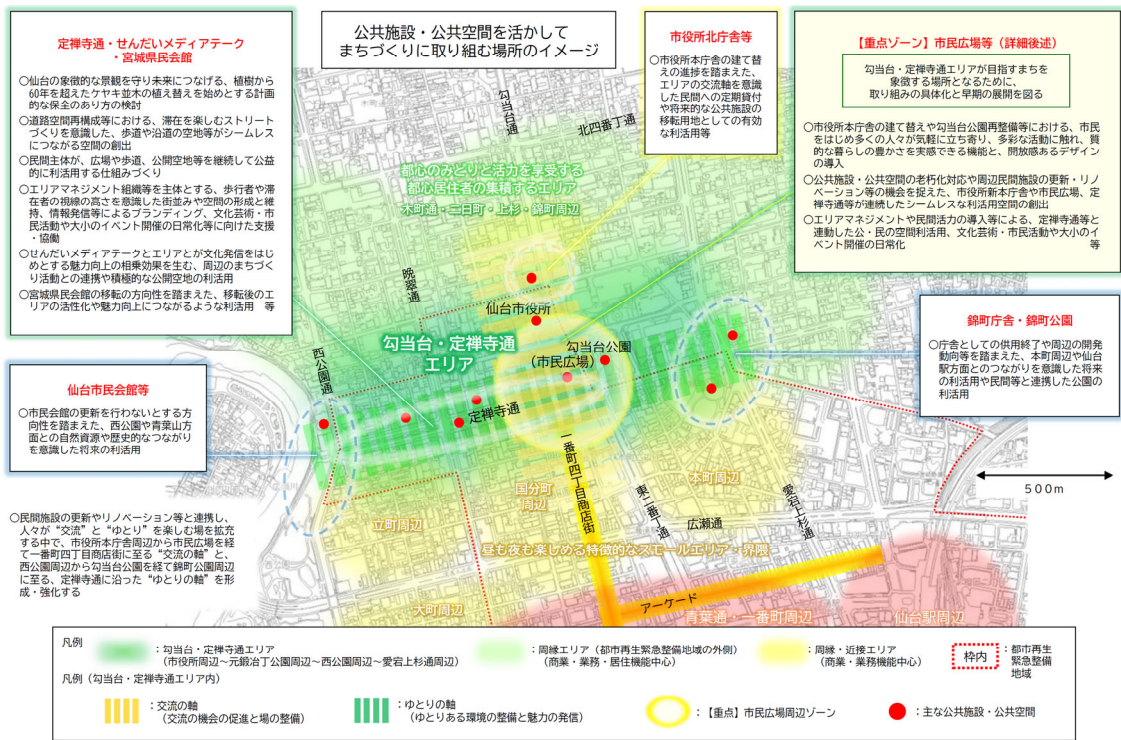


図 公共施設・公共空間を活かしてまちづくりに取り組む場所のイメージ

(出典：勾当台・定禅寺通エリアビジョン (仙台市))

1.2 地域におけるこれまでの取り組み

定禅寺通エリアに関する町内会や沿道地権者等を中心とした「定禅寺通活性化検討会」が平成30年10月に設立され、定禅寺通エリアの将来像とその実現に向けた取り組みについて継続的に検討しながら、市民参加型シンポジウムや道路空間利活用の日常化等に向けた社会実験等が行われてきました。令和4年3月には定禅寺通エリアの関係者が将来のまちづくりの方向性を共有し、その実現を目指し取り組んでいくための指針として「定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030（まちづくり基本構想）」を策定し、新たなエリアマネジメント推進体制（定禅寺通街づくり協議会・一般社団法人定禅寺通エリアマネジメント）」に、基本構想と今後のまちづくりを引き継ぎ、検討会は同5月に解散しました。

（主な取り組み）

- 平成30年10月 定禅寺通活性化検討会設立
- 令和元年10月 道路空間利活用社会実験「定禅寺通ストリートパーク'19」実施
- 令和3年8～9月 大規模社会実験「JOZENJI STREET STREAM」実施
（仙台市と共催）
- 令和4年3月 定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030（まちづくり基本構想）策定
- 令和4年5月 定禅寺通活性化検討会解散



図 定禅寺通パブリックミーティング vol.1
（令和元年6月）



図 定禅寺通ストリートパーク'19
（令和元年10月）

(1) 定禅寺通エリアまちづくりビジョン 2030（まちづくり基本構想）

基本構想は、定禅寺通エリアの関係者が将来のまちづくりの方向性を共有し、その実現を目指し取り組んでいくための指針として令和4年3月に策定されました。

まちづくりの理念と目指す街の姿、それを実現するための段階的な道路空間の再構成による「ひと中心の空間づくり」を掲げ、エリアの特徴を生かしたまちづくりの考え方や、実現に向けた4つのエリアブランディング戦略等がまとめられています。

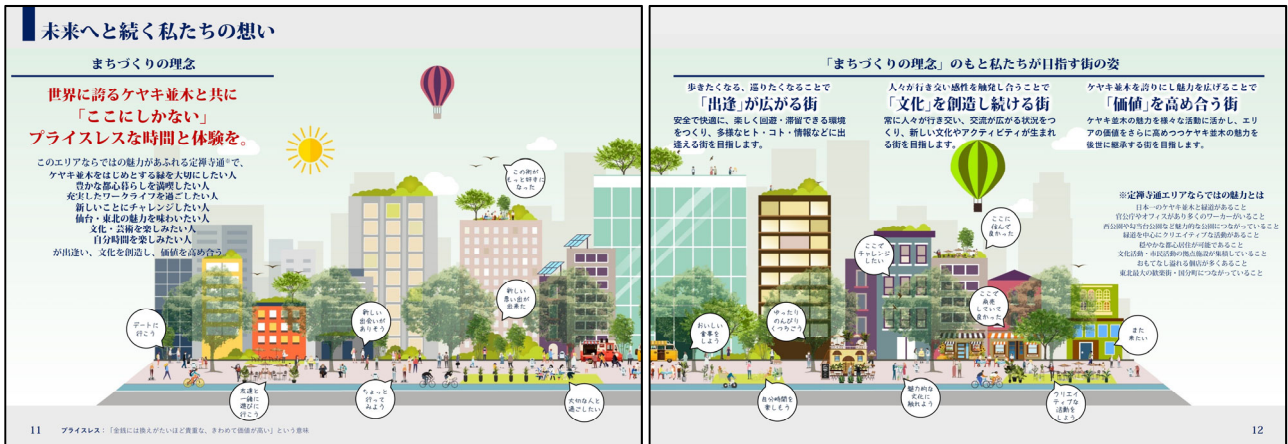


図 まちづくりの理念と目指す街の姿

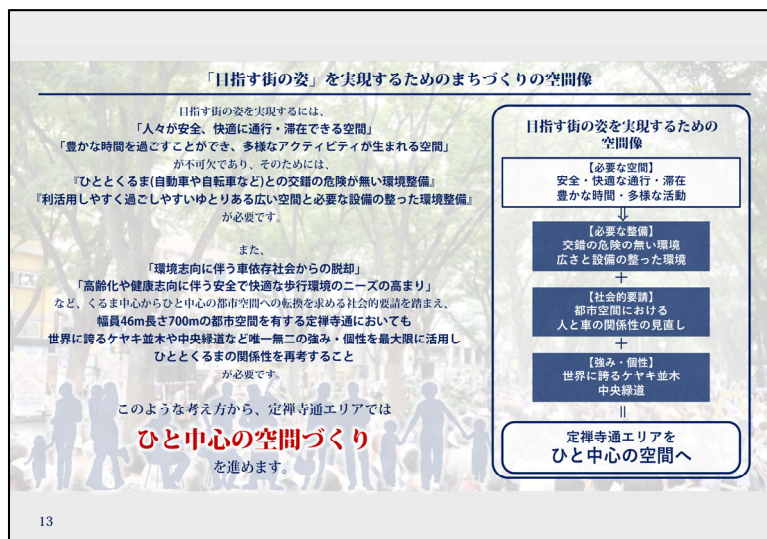


図 「目指す街の姿」を実現するためのまちづくりの空間像



図 「ひと中心の空間づくり」のステップ

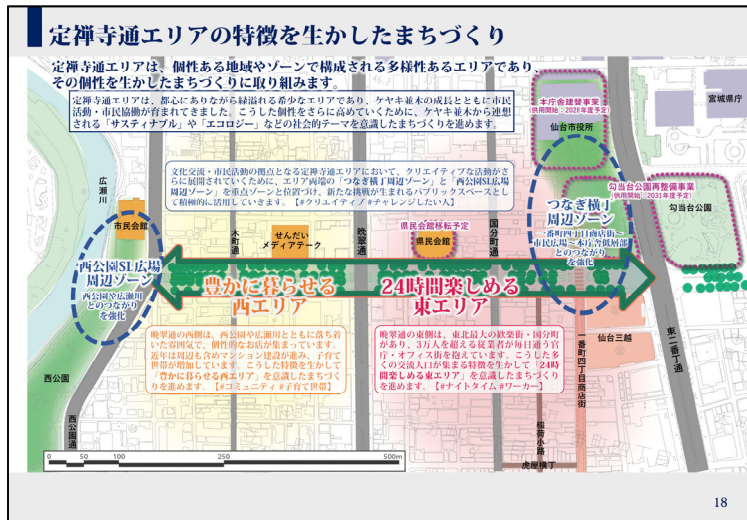


図 定禅寺通エリアの特徴を生かしたまちづくり

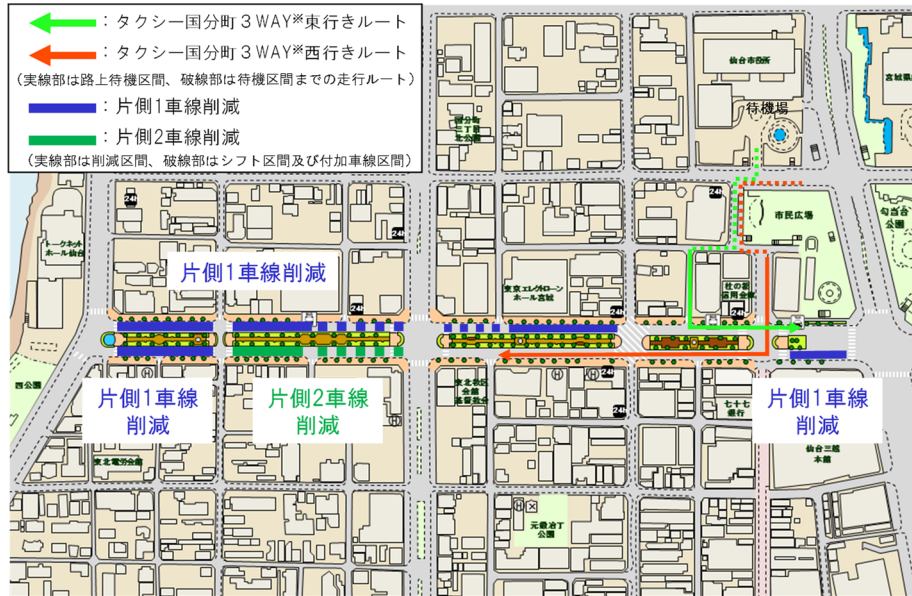


図 4つのエアブランディング戦略

（出典：定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030）

1.3 官民連携による取り組み

仙台市と検討会の共催により、車線削減による交通への影響と、道路空間の利活用の日常化に向けた効果や課題等を調査するため、定禅寺通の車線を一部削減し、拡張した歩行者空間を利活用する大規模な社会実験「JOZENJI STREET STREAM」を実施しました（令和3年8月20日（金）～9月7日（火））。



※タクシー「国分町3WAY」方式。午後10時半から翌午前3時まで、タクシー乗場を定禅寺通（東進、西進）、広瀬通（東進）の3か所に集約し、それぞれの乗場からタクシーが待機レーンに整然と順番に並ぶことで、国分町地区の違法客待ちタクシーによる深夜の交通混雑を解消するもの。

図 大規模社会実験車線規制図

公共空間の利活用は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置の適用に伴い、酒類の提供を取りやめるなど内容を縮小してスタートしましたが、会期中に緊急事態措置区域に追加されたことを受け、8月27日以降は出店イベントを中止するなど規模をさらに縮小しました。

図 JOZENJI STREET STREAM チラシ（中止状況掲載）

(1) 大規模社会実験における調査結果

1) 自動車交通への影響

- 自動車交通量は社会実験前と比べて大きな変化はなく、交差点需要率も目安となる数値を超えるような変化はなかったことから、社会実験の車線規制による自動車交通への影響はほとんど生じなかったと言える結果が得られています。なお、コロナ禍による影響を踏まえても、交差点需要率が目安となる数値を超える交差点は確認されませんでした。

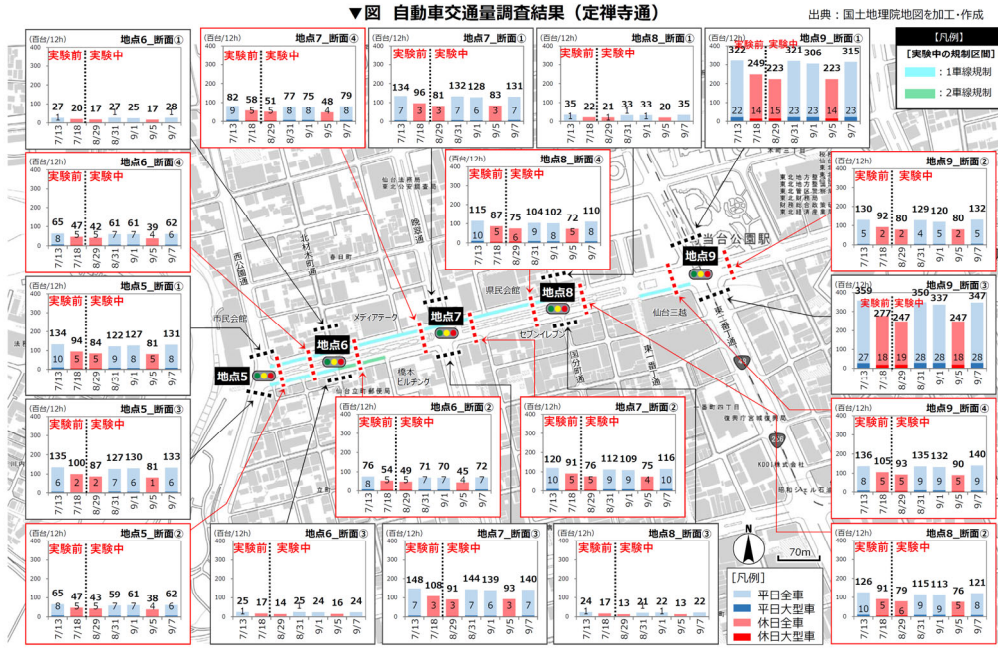


図 自動車交通量調査結果（定禅寺通）

（出典：令和3年度定禅寺通大規模社会実験各種調査結果（仙台市））

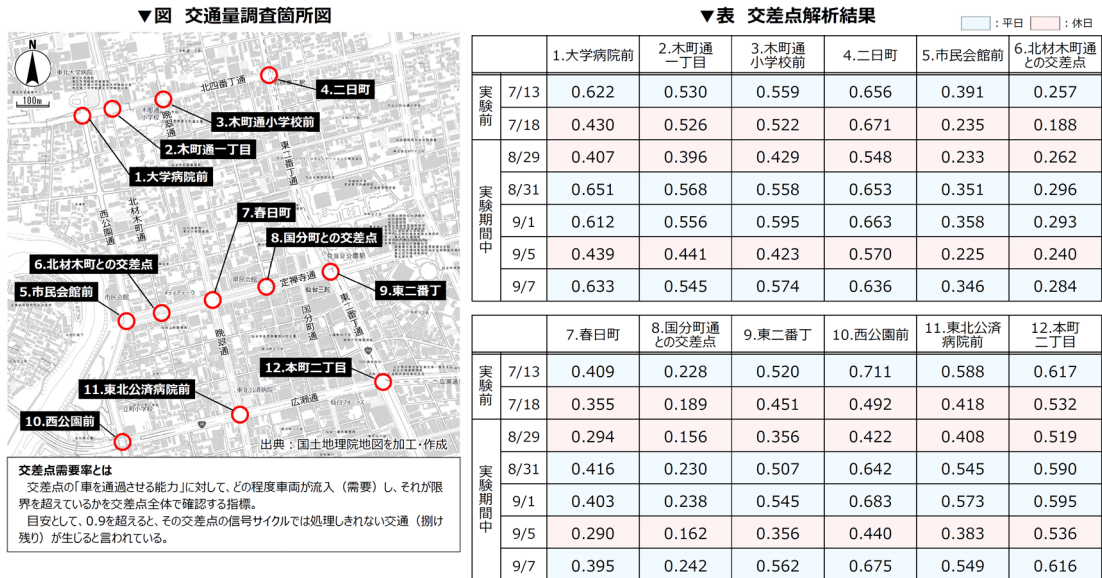


図 交差点解析結果（交差点需要率）

（出典：令和3年度定禅寺通大規模社会実験各種調査結果（仙台市））

2) 歩行者・自転車交通への影響

- 歩行者・自転車交通量に大きな変化は見られませんでした。中央緑道では出店イベントが行われた日の歩行者の通行量が増加しました。
- 車道に自転車走行空間を設けることで、自転車の車道走行は増加しましたが、錯綜はほとんど見られませんでした。また、安全性に関する肯定的な意見や否定的な意見、自転車利用者の交通ルール・マナー違反を指摘する意見等が挙げられました。

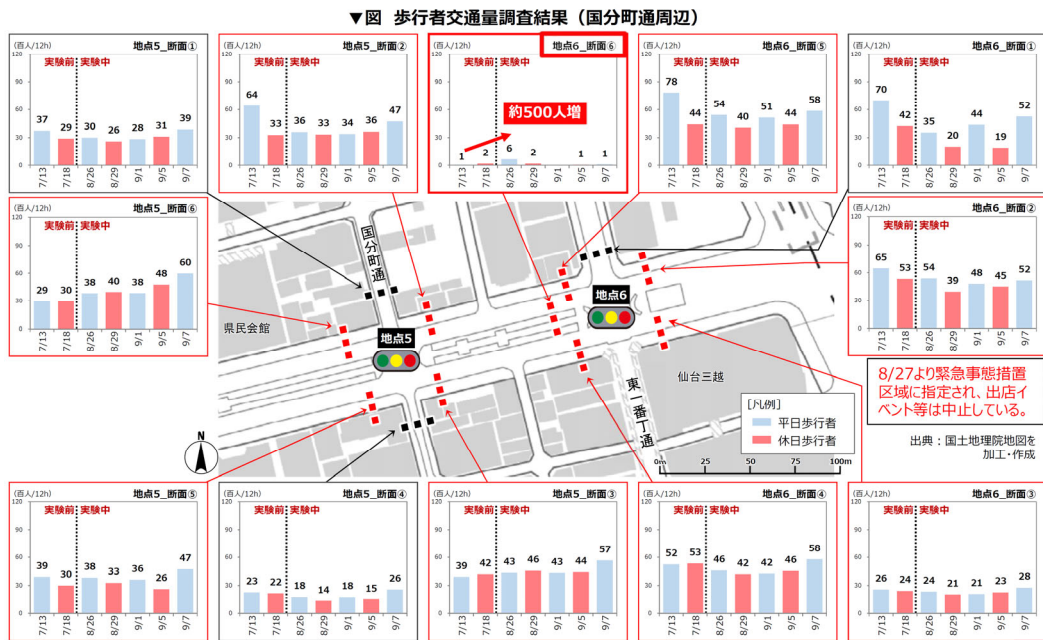


図 歩行者交通量調査結果（国分町通周辺）

（出典：令和3年度定禅寺通大規模社会実験各種調査結果（仙台市））

▼図 ビデオ観測結果（平日）

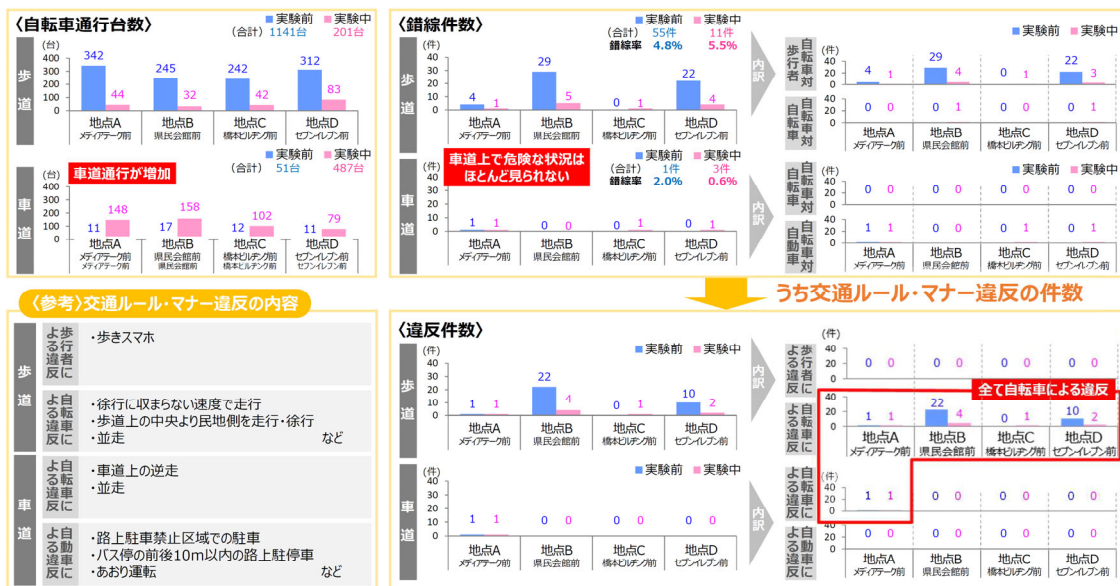


図 自転車走行空間ビデオ観測結果（平日）

（出典：令和3年度定禅寺通大規模社会実験各種調査結果（仙台市））

3) アンケート結果

- アンケート調査では、歩行者空間拡大・歩道の利活用について肯定的な意見が多く寄せられました。

【調査目的】

- ・ 社会実験の影響や公共空間利活用に対する意向等を把握する。
- ・ 複数のアンケートで共通する設問への回答を比較し、立場によるニーズの違いを把握する。

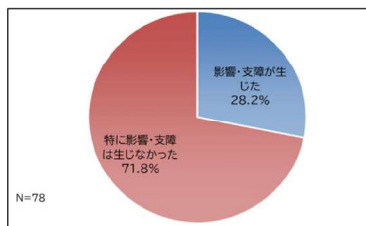
【調査結果】

【車線規制による影響・支障】 沿道関係者

設問：社会実験期間中の車線規制による影響や支障はありましたか

- ・ 車線規制による影響・支障があったと回答した割合が約28%。
- ・ 影響・支障の内容は「荷さばきの場所・時間の変更」や「自動車利用が不便になり来客が減少」が多い。

▼図 アンケート結果

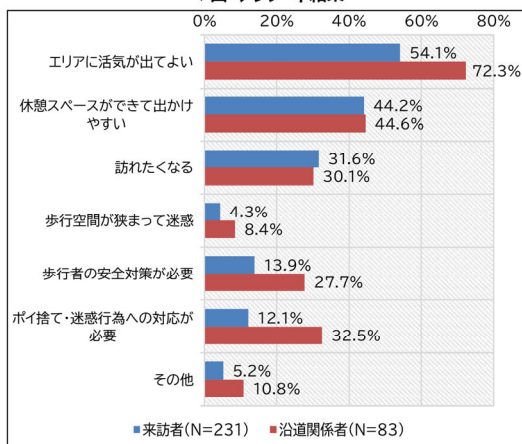


【取組に対する評価】：来訪者・沿道関係者

設問：歩道が本日のように（テーブルやベンチ、キッチンカーの設置等）使われることについてどう思いますか（複数回答）

- ・ 来訪者・沿道関係者ともに、「エリアに活気が出て良い」の割合が最も高く、沿道関係者はより高い。
- ・ 一方で、沿道関係者の方は歩行者の安全対策や、ポイ捨て・迷惑行為への対応を求めている。

▼図 アンケート結果

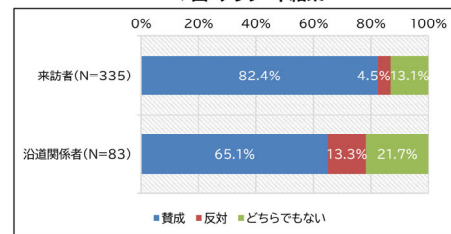


【歩行者空間拡大に対する賛否】来訪者・沿道関係者

設問：本日のように、定禅寺通を日常的な憩いやくつろぎ、飲食等のために活用することや、賑わいを創出するイベントを実施するために、歩行者空間を拡大することについてどう思いますか

- ・ 多くの方が賛成と回答している。
- ・ 特に、来訪者の方の賛意は約8割と高くなっている。

▼図 アンケート結果



【歩道の広さに対する評価】：来訪者・沿道関係者

設問：歩道が本日のように使われる場合、歩行者空間の広さについてどう思いますか

- ・ 来訪者の方が歩行者空間の拡大を求めている。

▼図 アンケート結果

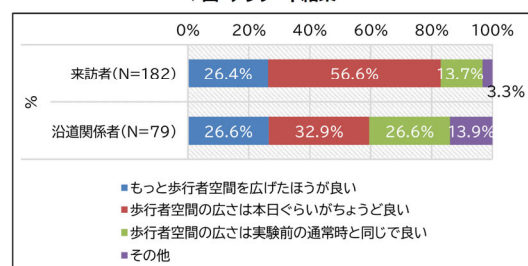


図 アンケート調査の主な結果

（出典：令和3年度定禅寺通大規模社会実験各種調査結果（仙台市））

2. 定禅寺通再整備方針策定に係る取り組み

(1) 定禅寺通の再整備に関する沿道説明会

定禅寺通街づくり協議会よりまちづくり基本構想についてご説明いただいたうえで、本市より定禅寺通の再整備の方向性について説明し、参加者の皆様からご意見をいただきました。

- 日時 令和4年10月31日（月） 14時00分～（昼の部）
18時00分～（夜の部）
- 会場 エル・パーク仙台 スタジオホール
- 参加者 34名（昼夜合計）



図 沿道説明会の様子

(2) 市民フォーラム「定禅寺通を“ひと中心の空間”にアップグレードしよう！」

本市より「定禅寺通再整備方針」中間案を説明し、あわせて、定禅寺通再整備の在り方や民間主体の取り組みにより変わる定禅寺通エリアの姿について、交通計画や空間デザインの専門家を交えてクロストークを行い、参加者の皆様からもご意見をいただきました。

- 日時 令和4年12月21日（水） 18時30分～
- 会場 エル・パーク仙台 ギャラリーホール
- 参加者 51名
- クロストークゲスト

【まちづくり団体】

定禅寺通街づくり協議会 会長 佐藤 晶洋 氏
（一社）定禅寺通エリアマネジメント 代表理事 氏家 正裕 氏

【専門家】

埼玉大学大学院工学研究科 教授 久保田 尚 氏（交通計画）
（株）オンデザインパートナーズ 代表 西田 司 氏（空間活用/空間デザイン）

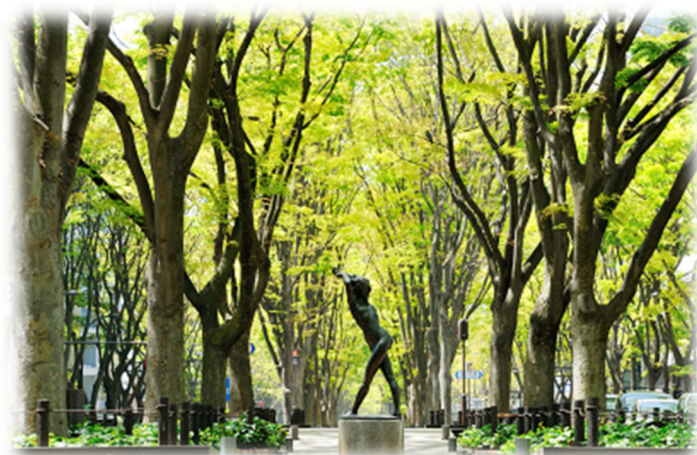


図 市民フォーラムの様子

(3) パブリックコメントの実施

- 募集期間 令和4年12月21日（水）から令和5年1月17日（火）まで
- 「定禅寺通再整備方針」中間案に対し、75件(15人)のご意見等をいただきました。

意見の分類	件数
(1) 活性化の方向性・再整備の方向性等に関する意見	12件
(2) 再整備の内容に関する意見	13件
(3) 自動車交通に関する意見	16件
(4) 自転車等に関する意見	8件
(5) 空間利活用に関する意見	4件
(6) ケヤキに関する意見	2件
(7) より幅広い意見の集約に関する意見	8件
(8) その他の意見	12件



仙台市まちづくり政策局定禅寺通活性化室
〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号